

# 始良市衛生協会だより

## 河川等藪払助成金の対象を 拡充

始良市衛生協会河川等藪払助成金交付要綱の一部を改正し、対象を拡充しました。拡充された内容は次のとおりです。

### ○年間の申請回数の限度をなくしました

これまで、1回あたりの助成の限度額は3万円、申請回数を3回までとしていましたが、年間の助成限度額を9万円とし、申請回数の限度をなくしました。

### ○自走式草払機にも助成を行います

これまで、草払機1台につき、500円を助成していましたが、自走式草払機を使用した場合、1台につき5,000円を助成します。

※河川等藪払助成金の詳細については、お問い合わせください。また、市のホームページにも掲載しています。



## ごみステーション用金属製ボックス及び ネットの購入費用の一部を助成します

市民の皆さんのご家庭から排出されるごみの飛散防止及び鳥獣被害による散乱防止を図るため、地区公民館や自治会でごみステーション用金属製ボックスまたはごみステーション用ネットを購入した場合、協会が、その費用の一部を助成しています。

- 金属製ボックス:費用の3分の1(上限3万円)
- ネット:費用の3分の1(上限3千円)

## 生ごみ処理機の性能 を検証中

協会では、電動式生ごみ処理機を購入し、加治木総合支所で試験的に使用しています。どのくらいの電気使用量で、どれくらいの生ごみを堆肥化できるのか?生ごみの減量化にどれくらい効果があるのか?などなど…。

実際に検証した結果は、改めてご紹介します。



## 巻き取り式ごみステーション を使ってみませんか?

協会では、インターネットで話題の巻き取り式ごみステーションを購入し、市役所本庁5号館前で試験的に使用しています。金属製ボックスを設置するスペースがない狭い場所にも置くことができ、使用しない時は、ネット等をすっきり収納できる優れたものです。

試験的に使用してみたい自治会があれば、期間を決めて貸し出ししますのでご相談ください。



## 始良市衛生協会 不法投棄パトロール中



市内に監視カメラを設置し、不法投棄の防止に努めています。



## 木製ボックス用資材を活用

市では、ごみステーションに設置するごみ箱用の資材を提供しています。腐食に強い注入材やブロックなどを活用し、地域に応じたごみ箱を製作している自治会もあります。

- ◆ ネットで覆っているのでカラス対策も万全。軽いので開閉も楽々です。
- ◆ 前面の形を一工夫して、力の弱い子どもや高齢者でもごみ袋を投入できる専用スペースを確保。このスペースに置かれたごみ袋は、気付いた住民が奥に移動させ、また投入しやすい状態に保っているそうです。

ネットだから  
軽くて開け閉め  
しやすい！

カラス対策も  
バッチリ！



投入口が低く  
なっているから  
子どもや高齢者も  
入れやすい！

## 理事21名が参加。植物性廃食油の再利用の現場を学ぶ



次に、天降川リサイクルセンターでは、始良市から排出された植物性廃食油が、バイオディーゼル燃料化される様子を確認しました。また、同施設では、精製されたバイオディーゼル燃料をパッカー車などで再利用し、環境面にも配慮しています。



1月31日、協会の理事が、植物性廃食油に関わりのあるリサイクル施設を視察し、研修を行いました。

まず、始良リサイクルセンターでは、収集された資源物の中間処理の様子を確認しました。

同施設には、市内で収集された植物性廃食油が一時的に保管されています。また、資源物の中間処理では、混入した分別不良の資源物の徹底した再分別が行われ、容器包装リサイクル協会のベール調査では、高い評価を受けています。



最後に谷口油販の施設を視察しました。同社は、鹿児島県、熊本県、宮崎県で排出されるさまざまな廃食油を収集し、リサイクルしている会社で、始良市の植物性廃食油をバイオディーゼル燃料化する際に発生するグリセリンも有価物として、引き取り、再利用しています。

始良市からは、年に約6トンの植物性廃食油が、排出され再利用されていますが、今後は植物性廃食油の資源としての排出率をどのように高めていくかが課題です。

### 問合せ先 衛生協会事務局

- ◆ 市役所本庁 生活環境係 Tel66-3111(内線144)
- ◆ 加治木市民生活課 生活環境係 Tel62-2111(内線124)
- ◆ 蒲生市民生活課 生活環境係 Tel52-1211(内線256)